

2026 年度 RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞募集開始

日本のがん医療を支える若手医師の育成を図るべく設立された、リレー・フォー・ライフ マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞。全米有数のがん専門病院であるテキサス大学 MD アンダーソンがんセンターとシカゴ大学医学部、ハワイ大学がんセンターで 1 年間学んでいただく熱意ある若手医師を広く募集します。概要をご確認いただき、ダウンロードした申請書と必要書類を日本対がん協会にお送りください。

【募集概要】

- (1) 目 的： 米国テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター、シカゴ大学医学部、ハワイ大学がんセンターでの研修を通じて、患者に寄り添い、「患者の希望」を正面から受け止め、患者中心の医療を、強いリーダーシップの下に実現できる若手医師の養成を図る。
- (2) 主 催： 公益財団法人 日本対がん協会
- (3) 監 修： 米国テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター
シカゴ大学医学部、ハワイ大学がんセンター
- (4) 協 力： 一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト
- (5) 研修プログラムの概要
 - ◇人 数： 最大 3 名
(MD アンダーソンがんセンター、シカゴ大学医学部、ハワイ大学がんセンター)
 - ◇期 間： 1 年間
 - ◇奨励金： 250 万円〔渡航費含む〕
 - ◇条件：
 - ① 医師免許取得後 7 年以上で、がん医療に 2 年間以上携わっていること
 - ② がん臨床研究について一定の経験があること（プロトコルを作成し、プロスペクティブな臨床試験の経験があること。もしくは、レトロスペクティブであってもプロトコルに従ってカルテスタディの経験があること。また、専門臓器のレビューの執筆が望ましい。）
 - ③ 米国人の医療者と英語で不都合なく会話ができること
 - ④ 研修修了後は必ず研修前に所属していた日本国内の医療機関などに戻って地域のがん医療の充実に貢献すること
 - ⑤ 帰国後に、所属施設のある地域で日本対がん協会の患者支援イベント、講演等の協力を惜しまない。特に「リレー・フォー・ライフ」が開催された場合は積極的に参加する。
 - ⑥ 帰国後に、修了者の集いによる活動に参加すること。またオンコロジー教育推進プロジェクトの事業に協力すること
 - ⑦ 研修終了後は、日本対がん協会より送付されるテンプレートで成果レポートを提出すること
 - ⑧ ①～⑥について、所属施設長の保証と推薦があること（英文。自由書式ですが、①～⑥の項目について必ず言及すること）
 - ⑨ 米国滞在中の病気や怪我を補償する保険に加入していること
※海外での治療が補償対象となる保険であることをご確認ください。

(6) 申請方法：申請書と必要書類を下記住所に送付してください。

申請書ダウンロード

〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル 7 階
公益財団法人日本対がん協会 マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 係

(7) 申請期間：2026 年 7 月 1 日～9 月 30 日（当日消印有効）

(8) 選考の流れ：日本対がん協会助成審査委員会における 1 次審査（10～11 月）の後、MD アンダーソンがんセンター、シカゴ大学医学部、ハワイ大学がんセンターがそれぞれ 2 次選考（11～12 月）を行う。

1 次審査の結果通知は年内に電子メールにて行う。

2 次選考の際に電話インタビューが加わる場合がある。選考の最終発表は、2027 年 1 月以降を予定する。

(9) 奨励金の返還：本奨励金は給付型であり、原則返還の義務を負わない。

ただし、以下のいずれかに該当した場合は速やかに全額の返還を要する。

- ① 受給者の渡米が中止となったとき。
- ② 正当な理由なくして、成果レポートを期限までに提出できなかった場合。
- ③ 当該奨励金の申請書に記載された研究テーマにおける不正があった場合や、奨励金の不適切な使用が明らかになった場合。
- ④ その他奨励金受給者としてふさわしくない行為があった場合、または当協会として許容できない特別な状況が認められた場合。

◇注意点：1) 奨励賞の授与は留学を保証するものではない。

2) 研修先の要請により、その他支援団体（勤務先を含む）からの一定額の助成金を必要とする場合がある。該当する場合は詳細を問い合わせること

3) MD アンダーソンがんセンターへの応募は、ポスドクの立場が望ましい。

4) 当協会のプライバシーポリシーを読んだ上での同意を必須とする。

<http://www.jcancer.jp/privacy>

マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞についてのお問い合わせは rfl@jcancer.jp まで。